

鹿沼市子ども・子育て会議 議事録

日 時：平成27年10月29日（木） 13時10分 ～ 15時00分

場 所：鹿沼市民情報センター 1階 研修室

出席者：鹿沼市子ども・子育て会議委員

学識経験を有する者：高柳 恭子

子どもの保護者：小田切佳小里、古橋正道、亀山貴則

子ども・子育て支援に関する知識経験を有する者：

青柳修、上沢善樹、柴崎君江、仲田美智子、植木良充

関係団体から推薦を受けたもの：茂呂英運、岩本雅子、谷中恵子、武田淳子

関係行政機関の職員：岡部健

（欠席者：吉澤優子、阿久津真吾、細川朋子、荒井正行、田野井武）

事務局 7名

議事内容

1. 開会

2. 委嘱状交付（資料1）

3. あいさつ

佐藤信市長

4. 子ども・子育て会議条例について（資料2）

5. 会長・副会長の選出について

会長：高柳恭子 副会長：岩本雅子

6. 議事

（1）子ども・子育て支援事業計画について（資料3、資料3-1、資料3-2、資料4）

（事務局より説明）

・平成28年度におけるニーズ量に対する確保方策（地域型保育事業の募集等）

岩本委員） 資料3-2P3「放課後児童健全育成事業」にある小学校の余裕教室の活用はどのようなものを考えているのか。学校では空いているところはないように思えるが。

事務局） 小学校の授業などで利用している普通教室以外の教室等になります。余裕教室は、学校でもいろいろ利用していますが、放課後のみ活用できないか検討していきます。例をいうと中央小などでは、会議室を活用して学童クラブを実施していますので、学童不足箇所、できないか検討していきます。

谷中委員) 資料 3-2P6 「乳児家庭全戸訪問事業」に係わる方の人数と資格について教えてください。

事務局) 常勤の保健師、雇い上げの保健師、在宅の助産師 総計約 30 名で訪問しています。資格は、保健師と助産師の資格の者が訪問しています。

谷中委員) 実は、訪問する職員によって対応が違っている話があった。一人目のときは、熱心に教えてくれたが、二人目のときは人が代わり、前回と違っていた。教えてもらいこともあるので、一人目でも二人目でも、同じように対応してほしい。

事務局) わかりました。

会長) いままでは、量の確保ということで会議を進めてきたが、今後は、質・内容について、各委員の意見をお願いします。

藤本委員) 資料 4P4 「トワイライトステイ事業」では、ひとり親家庭などでは、夜預かってもらえると仕事も幅も広がるという声も聞こえるが、需要を見極めての計画とあるが、制度化してからでないと、ニーズはつかめないと思う。また、制度化しても児童養護施設や乳児院に委託すると容量の問題などむずかしい。泊まりがないなどの条件で保育所へ委託できないか検討してほしい。他県では制度化しているが、栃木県内では、平成 27 年度から 1カ所と聞いており、今後、制度化などを検討してほしい。

事務局) 昼間の事業は市内の児童養護施設で対応している。今後、夜間についても実施が可能かどうか、また、市外施設との調整についても検討してみる。

## (2) その他 (資料 5)

・鹿沼市保育園整備計画について

(事務局より説明)

会長) 子どもの数がかわっていくことにより、鹿沼市の公立保育園の役割を見直していくことになっていくと思います

岩本委員) 板荷児童館の現在の人数は何人ですか。

事務局) 資料 5 の P4 に記載されています。

会長) 委員の方で、意見があれば、記載して提出してください。(11 月中)

## 7. 閉会